

むつ総合病院 外科 後期研修プログラム

一般目標

外科疾患に対応する能力を修得する。

行動目標

- ・ 外科疾患の身体所見をとることができる。
- ・ 超音波検査を行うことができる。
- ・ 血液、生化学検査やX線学的検査の所見が判読できる。
- ・ 腹痛の識別判断ができる。
- ・ 周術期の管理ができる。 - 補液、呼吸、循環、栄養、創処理、疼痛対策など -
- ・ 麻酔の基本を身に付ける。 - 全身麻酔と気管挿管、腰椎穿刺など -
- ・ 基本的手技を身に付ける。 - 静脈穿刺、動脈穿刺、胸腔ドレナージなど -
- ・ 癌取り扱い規約を理解し、症例のプレゼンテーションができる。
- ・ 患者の状態を上級医へ適切に連絡、報告ができる。
- ・ 診療録に記載することができる。

指導体制

1 . 指導医数 5名

2 . 指導医の氏名および資格

- (1) 藤田 正弘：日本外科学会指導医、日本消化器外科指導医、日本大腸肛門病学会
専門医、身体障害者福祉法指定医
- (2) 山崎総一郎：日本外科学会認定医
- (3) 松浦 修：日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、健診マンモグラ
フィー読影認定医
- (4) 山田 恭吾：日本外科学会専門医、身体障害者福祉法指定医
- (5) 諸橋 一：日本外科学会専門医